

SPSD研究会のあゆみ

- 2002年 認知症模擬演技者の養成をする「SPSD研究会」が永田久美子先生発案で発足
*・認知症介護研究・研修東京センター 研究者
- 2005年 「認知症でもだいじょうぶ」まちづくりキャンペーン2005特別賞を受賞する
- 2006年 DVD「認知症そのこころの世界」「認知症の人の心を感じて」独立行政法人福祉医療機構(WAM)の助成を得て作成
- 2015年 NHK学園「知っておきたい認知症」通信講座の受講者添削・DVD作成協力

ACTが養成している **SPSD** とは
「認知症の人の模擬演技役」のこと
Simulated Person with Senile Dementia



認知症の人を支える 地域プログラム出前講座

- 行政・地域包括支援センターの認知症サポーター養成講座のフォローアップ研修
- 中・高校生の授業「認知症の人の心を感じて」公立小中学校、都立高校
- 調剤薬局等の一般企業の研修



ACTの紹介



地域で安心して暮らせるまちづくりを目指し、困ったときのたすけあいの仕組みを地域ごとにつくろうと1992年に設立しました。

自立援助サービス(ACTつながるケア)を主軸に、ACT会員有志でつくる都内33の「たすけあいワーカーズ」とネットワークし活動しています。会員数約6,000人です。(2019年4月現在)



プログラム料金

● 行政・公社・福祉関係団体・非営利団体

模擬演技者1名料金 15,000円
プログラムスタッフの派遣料金 1名 16,705円 × 3名
プログラム料金合計 50,116円

● 民間一般企業

模擬演技者1名料金 30,000円
プログラムスタッフの派遣料金 1名 33,411円 × 3名
プログラム料金合計 100,233円

※上記金額は一例です。詳細はお問い合わせください。

お問い合わせ

特定非営利活動法人アビリティクラブたすけあい
ACT アクト 事務局

電話 03-5302-0393
FAX 03-5302-0394
メール tokyoact@maple.ocn.ne.jp

認知症の人にやさしいまちづくり事業

認知症の人の心を感じて

認知症の体験型プログラムのご案内



ACT アクト
特定非営利活動法人 アビリティクラブたすけあい
SPSD研究会

認知症の人がふつうに暮らせる地域づくり

○認知症プログラムの特徴

ACTが養成した
認知症模擬演技者
(SPSD)がいます



模擬演技者は、
認知症の人の心を感じて
気づきを伝えます



ファシリテーターが
講座を進行します

グループワークで、
認知症の人が安心できるように
みんなで考えます

- ・自分でできること
- ・みんなで力を合わせてできること
- ・地域でできること



○認知症プログラムの流れ

認知症の人との関わり方を学ぶ



事例をDVDで見る



ロールプレイを体験する



グループワーク
(場面を見てみんなで話し合う)



発表する



フォローアップ研修の様子

ご要望に応じて
いろいろなシナリオがあります。

もの忘れ

室内



あなただけ

家に帰りたい

屋外



ここはどう